

開設講習名	【選択必修】アクティブな学びをつくる教科指導		講 師	吉川 幸男・坂東 智子	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 7 月 29 日		時間数	6 時間	受講予定人数 30 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭, 養護教諭, 栄養教諭				
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
取り扱う事項	学習指導要領等に基づき育成すべき資質及び能力を育むための習得、活用及び探究の学習過程を見通した指導法の工夫及び改善				
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日求められる「アクティブな学び」のイメージを、指導方法の工夫や改善、その際の問題点を含め具体的に説明することができる。 ・「アクティブな学び」を取り入れた学習指導計画を企画・立案し、発表することができる。 ・教科・領域横断的に学習することの必要性や取り組みの実際について説明することができ、具体的な提案ができる。 					
<p>【講習の概要】</p> <p>今日では、多様な地域の学校で、多様な子どもたちを前に、多様なキャリアステージにある教員が授業を行っています。「アクティブな学び」は一律ではなく、とりまく状況によって異なります。この講習では、多様な状況下にある先生方が、それぞれの状況の中で、「アクティブな学び」という視点を取り入れることによって、新たな「学び」のある授業へとステージアップをはかれるようになることを目指します。その際、事例教科として国語科と社会科を中心に扱います。</p> <p>「アクティブな学び」を探っていく以上、本講習自体も「アクティブ」である必要があります。そこで本講習は以下の2部で構成し、講義と演習（発表）を密接に交差させて行います。</p> <p>第1部 「アクティブな学び」のイメージと考え方 ～国語科と社会科を中心に～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国語科及び社会科の実践研究の動向とそでの「アクティブな学び」の意味や課題を知る。 2. 各受講者のおかれたさまざまな状況下での「学び」の現状を踏まえ、そこで「アクティブな学び」を創る場合の意義や問題点を挙げ、それを解決するための具体的な手立てを検討する。 3. 今日の状況下での教科・領域横断的な学習の意義をとらえ直し、具体的な提案を話し合う。 <p>第2部 「アクティブな学び」の視点から、授業改善への方向を探る(演習及び発表)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 国語科または社会科の題材で、「アクティブな学び」を採り入れた授業プランの作成を試みる。 (受講人数によって、グループ作業になる場合があります。) 5. 授業プランの発表と協議を経て、大まかな方向を共有し、改善方向を探る。 					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法: 筆記試験</p> <p>評価基準: 合格:「到達目標」におおむね到達している。 不合格: 上記以外</p>					
<p>【テキスト・参考文献】</p> <p>必要に応じて、参加申込者に事前にテキスト(資料)、及び連絡事項を配布予定。</p>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>本講習は主な対象者を小学校・中学校・高等学校教諭としていますが、中学校・高等学校教諭については、担当教科を指定していません。ただし、講師の専門の関係で事例は国語科と社会科になり、上記概要「4」で作成するプランも国語科または社会科になります。その点をご留意の上、お申し込みください。</p>					